

ひょうご防災ネット（アプリ）ご紹介

「ひょうご防災ネット」は兵庫県および兵庫県内の市・町から「避難に関する情報」などの緊急情報や、地震、津波、気象警報などの防災に関する様々な情報を利用者の方々に提供するサービスです。

- 主な機能**
- 避難に関する情報や各種気象情報などをプッシュ通知！
- いざという時に備え「マイ避難カード」を作成
- 氾濫危険水位到達情報 / 大雨危険度情報 / 避難場所を地図で検索
- 12 外国語対応 / 防災情報ポータルサイト / 音声読み上げ機能

ご利用方法

まずは、アプリをダウンロードしましょう！ **無料!!**

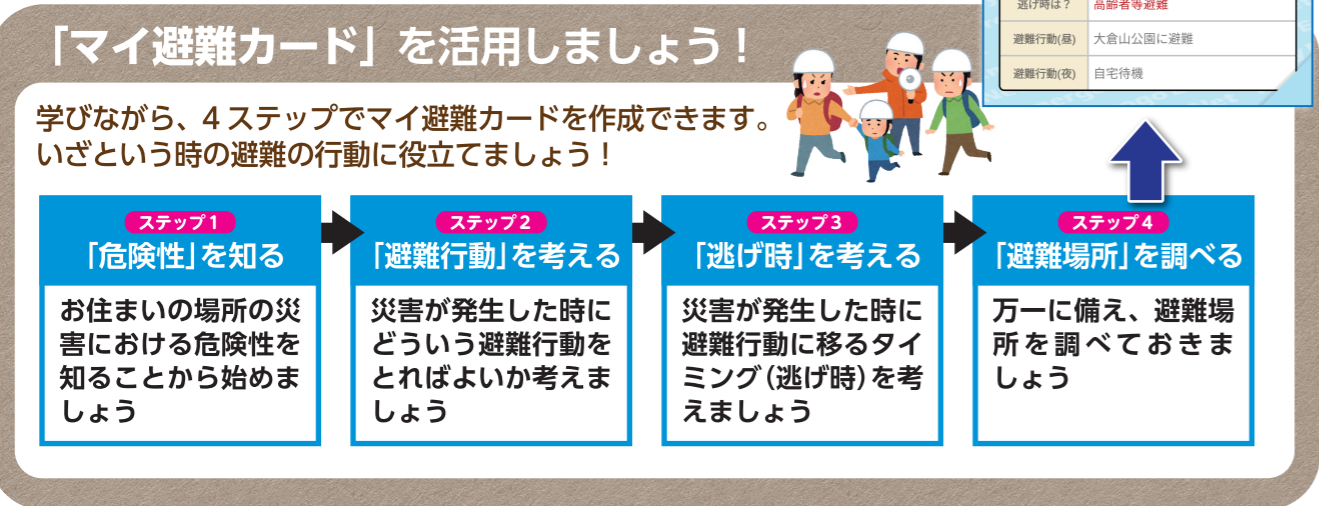
QRコードを読み取ってダウンロードしてください。
または、[App Store][Google Play]で「ひょうご防災」を検索してください。

ひょうご防災

Android **iOS**

※ウェブ版の「ひょうご防災ネット」をご利用の方にはメールでもアプリを案内します。

次に、アプリを起動し、初期設定をしましょう！ **簡単!!**



利用上の注意 アプリの利用料は無料ですが、所定のポケット通信が発生するため、通信会社の契約状況によってはポケット通信料が発生します。

防災に対する心構え 日常備蓄の重要性

— 自分のことは自分で —



地区防災計画 / 清瀬台自治会

監修：西宮市役所地域防災支援課

こちらは、2023年9月10日、西宮市役所地域防災支援課による出前講座『防災に対する心構え』の内容から、重要項目を清瀬台自治会としてまとめた冊子となります。

西宮市が提供している防災情報サイト紹介

楽しく動画で防災を学ぼう！
「にしのみや防災チャンネル」

防災情報がたくさん！
「防災に役立つチラシ集」

■ 南海トラフ地震 / 30年以内の地震発生確率 70~80%

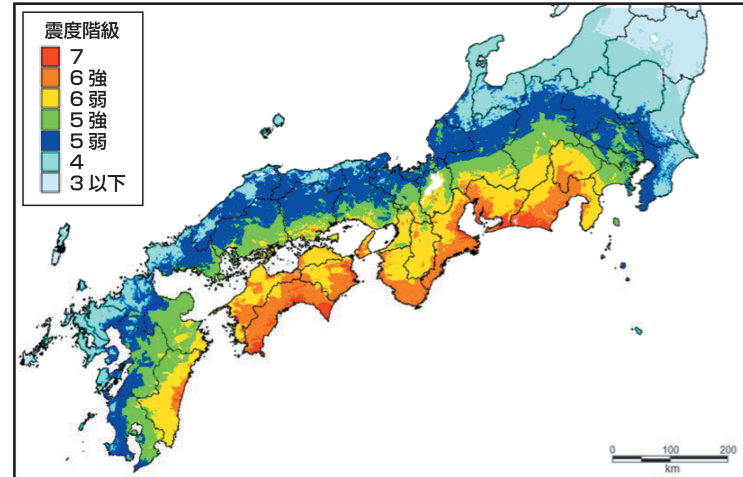
— いつ起きてもおかしくない状況を再認識しましょう —

南海トラフ地震被害想定と過去の大地震との比較 ※南海トラフ地震想定数は最悪のケースで算定されています

	南海トラフ地震 (兵庫県想定)	南海トラフ地震 (全国想定)	阪神・淡路大震災	東日本大震災
最大震度	6弱以上	7	7(M7.2)	6弱~7
死者	約29,100人	最大約23万1,000人	6,432人	15,900人
負傷者	約36,690人	最大約52万5,000人	43,792人	6,157人
建物被害(全壊・半壊)	約215,600棟	最大約151万5,000棟	255,395棟	368,813棟
上下水道	約265万人	最大約3,570万人	約130万戸	約257万戸
停電	約114万戸	最大約2,930万戸	約260万戸	約466万戸
ガス供給停止	約6万戸	最大約180万戸	約86万戸	約200万戸

上記数値は、兵庫県、内閣府、ウィキペディアを参照して算出した値です。※公表機関によって数値が違うので参考程度となります。

南海トラフ地震の最大クラス震度分布図



出展：内閣府「中央防災会議」

南海トラフ地震による西宮市の災害想定

—最大震度は「6弱」揺れは3分程度続く見込み—

津波の高さは最大3.7メートルと想定。沿岸部では液状化による家屋・道路等の沈下。山間部では土砂災害等が発生。

●清瀬台の状況(ハザードマップ)

清瀬台は、どん尻川沿いの一部地域が土砂災害警戒区域(地すべり)。他は土砂災害警戒区域なし。



清瀬台は在宅避難可能地域です

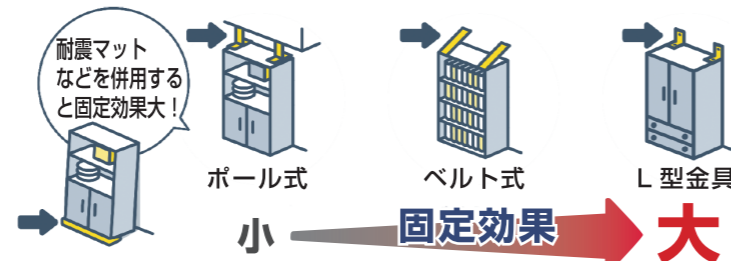
■ 地震から命を守るため、日頃の備えを見直しましょう

『備え』とは…災害が起こったら困る事を考えてみる ⇒ 命を落とさない環境づくりの実践!

● 地震発生時の基本行動



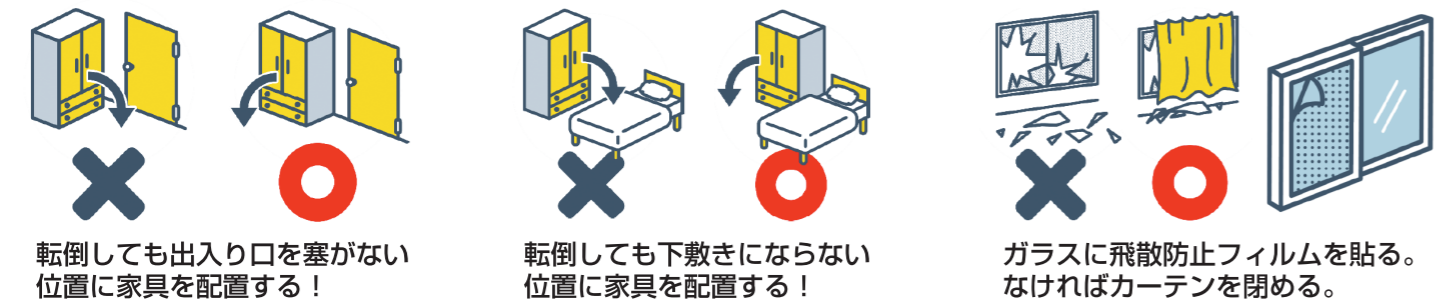
● 家具の転倒防止対策



家具の転倒防止には、器具を使用する方法があります。器具はホームセンターなどで購入できます。

● 家具配置の工夫など

器具による固定が難しい場合でも、家具の配置を工夫することなどで怪我のリスクを減らすことができます。



■ 大地震後のライフライン復旧日数

9割程度復旧するまでの日数(電気>水道>ガスの順番)

	阪神・淡路大震災 1995年1月17日	東日本大震災 2011年3月11日
電気	2日	6日
水道	37日	24日
ガス	61日	34日

・過去の災害では電気は約1週間、水道は約1か月、ガスは約1~2か月復旧に時間がかかりました。
・水道やガスの復旧には特に時間がかかるため、飲料水やカセットコンロ用のガスボンベを十分に用意しておきましょう。

■ 南海トラフ地震発生後の救援活動(予測)

予測内容
・南海トラフ地震は被害が広範囲
・太平洋側の大規模被害地域(和歌山県、高知県など)から優先
・西宮市も沿岸部に大きな被害が発生
・行政担当者、消防、インフラ従事者も被災者

だから **清瀬台への救援活動は遅くなる**

ここが重要 自分のことは自分で「自助」を心がけましょう **だから**
食料と飲料水は7日分の備蓄を推奨

備蓄品目安

品目	備考
7日分以上の食料	アルファ化米(水を加えて食べられるお米) インスタント・レトルト食品、缶詰、乾パン、栄養補助食品、お菓子などの調理不要なもの
7日分以上の飲料水	大人1人当たり1日3リットル(水だけではなく、野菜ジュース、スポーツドリンクなども込みで)
トイレ用品	簡易トイレ、汚物保管容器、トイレ袋、トイレトーパー
燃料	カセットコンロ、ガスボンベ、固形燃料、電池など
その他	モバイルバッテリー、ランタン、懐中電灯、ウェットティッシュ、ラジオ、毛布、寝袋、食品用ラップフィルム、ポリタンク、衛生用品



出展：(財)消防科学総合センター「大地震被災経験者に聞く」

■ 備蓄食料の管理 ⇒ ローリングストックを導入

非常食の問題点 ⇒ 割高、在庫管理、気づいたら賞味(消費)期限切れ

ここがポイント **非常食だけを備蓄する必要はありません**

ローリングストックの実践
※常に一定量の食料を家に備蓄しておく方法をローリングストックと言います。
冷蔵庫・冷凍庫にある食材も災害時には備蓄食料となります。



- **ローリングストックのメリット**
 - ・無駄なお金がかからない
 - ・賞味(消費)期限の管理が簡単
 - ・買占め等の影響を受けにくい
 - ・非常時、普段に近い食生活を維持できる
- **ローリングストックのポイント**
 - ・普段から買い置きを多めにする
 - ・古いものから使う
 - ・使った分は必ず補充する